

大阪南ロータリークラブ会報

第 819 号
2026 年 6 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区日本橋西 1-2-11
マルニビル7階B
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分
例会場 センタラグランドホテル大阪 3 階
会 長 新開 隆浩 幹 事 清水 久博

2026-2027年度 役員・理事

新 会 長 に 飯 井 克 典 君

副会長に 小林 豊光君、川谷 周平君、幹事に 末澤 市子君



飯井会長



小林副会長



川谷副会長



末澤幹事

既にご承知の通り、我が大阪南ロータリークラブの 2026-2027 年度 役員・理事は去る 11月11日（火）に開かれた役員・理事指名委員会で候補者が指名推薦され、その指名通り年次総会〔11月25日（火）〕で承認された。

そしてその後開催された新理事会で、理事の奉仕部門も決定した。また、各奉仕委員会の委員長並び副委員長も決定し、事業計画や予算編成など、新年度を迎える体制が着々と進められている。

2026-2027 年度 役員・理事 (敬称略)

役員	会 長	飯井克典
〃	直 前 会 長	新開隆浩
〃	会 長 エ レ ク ト	山本和良
〃	副 会 長	小林豊光
〃	(クラブ管理・運営担当)	川谷周平
〃	幹 事	末澤市子
〃	会 計	清水久博
〃	S A A	三宅耕平
理事	職業奉仕担当	杉 俊平
〃	社会奉仕担当	下井謙政
〃	国際奉仕担当	大熊直子
〃	青少年奉仕担当	菰田哲也
〃	財 団 担 当	米田秀弥
〃	無 任 所	横山慶治

飯井 克典 次期会長の略歴
Meshii Katsunori

昭和 38 年 (1963 年) 9 月 18 日生まれ
(株) 飯井商店代表取締役

2009-'10 年度 S A A

2010-'11 年度 副幹事

2011-'12 年度 幹事

2012-'13 年度 会計

2020-'21 年度 副会長

2025-'26 年度 会長エレクト

よいことのために
2025-2026
手を取りあおう のテーマ

よいことのために手を取りあおう
「素敵な笑顔」に出会いたい ~笑顔で繋ごう! より良い未来へ~

フランチャيسコ・アレツツォRI会長
新開 隆浩会長

第5回クラブフォーラム

青少年奉仕部門

日 時：2026年5月12日（火）

例会終了後、午後17時50分開会

場 所：センタラグランドホテル大阪3階

「オーキッドボールルーム」

浪速区難波中2-11-50

☎ (6616) 9945

討議部門：青少年奉仕部門

形 式：バズセッション

木村、岸上、下井、米田秀

Hテーブル ◎野村 (IAC)、原田、川中 (RAC)、

大原、岡本直、庄司、山本ハ

Iテーブル ◎横関 (衛星)、安部、長谷川孝、

伊藤 (IAC)、桑原、中村剛、

楊井

Jテーブル ◎杉山 (衛星)、羽東、早瀬、

樋口纏、川谷、正井、柴田

(IAC)、由谷

Kテーブル ◎小浦 (衛星)、相川、一瓢、

伊藤芳、栗原、岡村、辰己、

山田

議 題：

- ① 私たちロータリアンは、ロータリーファミリーである RAC・IAC に対し、青少年奉仕を通じ何を伝えるべきか。
- ② 私たちロータリアンは、青少年 RAC・IAC とどのように関わり、どのように活性化を図ることができるか。

出席者(敬称略. 順不同) 81 名

◎テーブルマスター

A テーブル 新開、草島、飯井、河野、
山本和、寺川

B テーブル ◎菰田、福本恵、上甲、是永 (RAC)
持松、荻原、坂口、横山慶

C テーブル ◎谷村、橋本、岩崎、ハマドリワツ
(RAC)、佐南、佐藤元、武田

D テーブル ◎藪内、入江、小松、岡田、図所
(RAC)、清水、鈴木慶

E テーブル ◎西水 (衛星)、伊藤勝、小林二、
島村 (IAC)、森、西本、奥田、
ハッ橋

F テーブル ◎萱野 (IAC)、天野、青山、
小倉拓、末澤、植田晃、山岡

G テーブル ◎木下仁、金森、加藤、川端 (RAC)



1、開会挨拶：新開会長

例会に続き青少年奉仕部門クラブフォーラムへ参加いただきありがとうございます。本日は、ロータリーファミリーとして、大阪南なみはやロータリー衛星クラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの各会長・幹事・顧問の先生方、多数の方に参加していただきありがとうございます。

今年度の青少年奉仕事業として、生國魂神社でロータリーファミリー合同の清掃活動を実施し、インターアクトクラブの生徒達との協働は初めてであり、有意義な機会でした。次年度に向けて、ロータリアン・インターアクト・ローターアクト・衛星クラブを含めた幅広い交流事業の実施を期待したいと思っています。

昨年の草島年度事業でもインターアクトとの協働がありましたが、今後はローターアクトや衛星クラブも含めた合同事業の拡大が望ましいと思います。

本日のクラブフォーラムでは、各テーブルで出された意見・アイデアをテーブルリーダーが後ほど発表し、次年度事業の参考資料として活用される予定です。皆様どうぞそのような事業にご参加していただきご協力宜しくお願い致します。

2、テーブルマスター指名：清水幹事



3、初参加の新入会員紹介 正井会員、萩原会員



4、ゼネラルリーダー議題説明： 菰田ローターアクト委員長

青少年奉仕委員会として実施した今年度の主な事業内容を報告致します。昨年9月には万博支援事業として、鶴見子どもホスピスの子どもたちに「命」をテーマにした体験活動を提供しました。また、今年1月には青少年奉仕部門の合同事業として、生國魂神社での清掃奉仕と交流ワークショップを実施し、中高生のインターアクト、20～30代のローターアクト、衛星クラブ、ロータリアンまで幅広い世代が協働し、一体感を得られた有意義な活動でした。さらに、ゴールデンウィークには「春のRYLAセミナー」を開催し、「大切なものは目に見えない」をテーマに約60名の若い世代がリーダーシップを学びました。

これらの経験を踏まえ、次世代への価値継承や関わり方を今後の活動指針として検討しました。本日は、皆様宜しくお願い致します。

5、各クラブのクラブ紹介及び活動報告：



大阪南なみはやローター衛星クラブ：横関議長

衛星クラブは、2018年設立、会員6名（30～50代が各2名）で、毎月第1・第3火曜に中央区「ふれあいセンターモモ」で例会を開催しています。

今年度は年間24回の例会を実施し、通常例会13回、移動例会5回、他クラブ訪問2回を行いました。重点として掲げた「会員増強」「交流拡大」「社会奉仕」のうち、特に他クラブ訪問を通じた交流促進に取り組みました。

事業は以下の3件を実施しました。

- ・ 鶴見子どもホスピス万博支援事業への協賛参加
- ・ 中央区社協フードパントリーでの支援物資配布（約650名に提供）
- ・ 生國魂神社での青少年奉仕部門合同奉仕事業への協賛参加いたしました。また、大阪南RAC・大阪学院大学RACとの3クラブ合同で大阪城公園清掃と交流会を行い、クラブ間の連携が深まりました。

最後に、次年度は再び幹事を務める予定であります。今年度の反省を踏まえ、次年度議長を支えながら活動を強化していきたいと思っております。皆様引き続きの支援を宜しくお願い致します。



大阪南RAC：是永会長

大阪南ローターアクトクラブは、1969年設立し、現在18名が所属しております。直近で

はインターアクトから2名が入会しました。ロータリーファミリーのつながりの強さをとっても実感しております。また新入会員の1名は次年度幹事を務める予定です。

今年度は、鶴見子どもホスピス万博支援事業、生國魂神社清掃奉仕、大阪城公園でのクリーンハイクなど、衛星クラブ・インターアクトクラブ・大阪学院大学RACと協働して活動を行いました。

メイン事業である万博支援事業では、

- ・ 万博会場でのガイド同行支援
- ・ NTTドコモと連携した「バーチャル万博(V-EXPO)」の実施の2つを展開しました。

重い病気を抱える子どもや家族が万博を体験できるよう、パビリオン予約確保や休憩場所の提供など多くの協力を得て実現したもので、参加者からは大変好評でありました。特に子どもからの感謝の手紙が寄せられるなど、意義深い事業となりました。

バーチャル万博では、施設内でアバター操作による万博体験を提供し、約20家族・30名が参加しました。アバター操作や着せ替えなどが好評で、参加者から感謝の声が寄せられました。

最後になりますが、事業は多くのロータリアン・ロータリーファミリーの協力によって実現したものであり、人の力の大きさを実感いたしました。クラブは残り2か月で次年度へ引き継ぐ段階にありますが、次年度会長と幹事を支えながら、引き続き活動を進めたいと思っております。



大阪学院大学 RAC : ハマトリトウ会長

クラブは設立 3 年目で、今年度のテーマを「縁を結ぶ」とし、他クラブとの合同例会を積極的に実施して交流を広げてきました。

資金調達としては、毎年恒例の岸辺祭でチーズボールとゴマ団子を販売し、売上 5 万円・利益 3 万円を達成し、前年より大幅に増加しました。

また、大阪南 RC・大阪南 RAC・衛星クラブとともに、鶴見子どもホスピス万博支援事業、生國魂神社清掃、大阪城公園での清掃と花見交流会など、多くの事業に参加しました。例会の半数以上を外部卓話で実施し、学生にとって貴重な経験となりました。

最後に、今年度の活動へのご協力に感謝申し上げます。今後ともクラブとして成長していきたいと思っております。



清風学園 IAC : 野村先生

まず、大阪・関西万博テーマウィーク事業では、高校 2 年生の小林君が発表者として参加しました。人前で話す経験がほとんどあり

ありませんでしたが、繰り返し練習を重ね、本番では自信を持って発表できました。この経験は本人の大きな成長につながりました。

続いて、8 月の台湾・高雄での海外研修では、別の 3 名の生徒が英語でのプレゼンテーションに挑戦しました。夏休み期間中もオンラインで練習を重ね、全員が満足のいく発表ができました。

1 月には、生國魂神社での清掃奉仕と神職による歴史講話に参加し、日本神話や神社の歴史に触れる貴重な学びの機会となりました。また午後には吉野の伝統技術を学ぶワークショップで三宝づくりを体験し、生徒たちにとって大変有意義な活動となりました。

これらの活動を通じて、生徒たちの自信や意欲が高まり、今年 4 月には新たな入部希望者も増えています。今後は 6 月の新入生歓迎会への参加を予定しております。今後も引き続きよろしく願いいたします。



興國高等学校 IAC : 萱野先生

興國高等学校インターアクトクラブが 5 年目を迎え、初めて「3 年間すべての活動を経験して卒業する世代」が誕生しました。顧問として手探りの中で始まった活動に、生徒たちが信頼してついてきてくれたことを感謝致します。

卒業生の進路は非常に良好で、鶴見子どもホスピスでの活動経験をきっかけに医学部へ

進学した生徒をはじめ、関西学院大学法学部、防衛大学校、大阪府警など、多様で力強い進路が実現しました。いずれの生徒も「なぜその進路を選ぶのか」を自分の言葉で語る点が共通しており、インターアクトでの実体験が大きく影響したと思っております。

こうした成果を学校内で紹介した結果、今年度は30名以上の新入部員が入部し、クラブは大きく活気づいています。今後は新入生が活動を通じて自分の将来の「なぜ」を見つけられるよう支援をしていきたいと思っております。引き続きの支援をお願い致します。



6. 乾杯：草島直前会長

ロータリー・ローターアクト・インターアクトが世代を超えて関わり合う事の意義の大きさはとても大切な事です。若い世代との交流が人生を動かす力を持つことはとても素晴らしい事です。

本日の集いが、青少年奉仕の精神をさらに育む機会となることを願います。大阪南ロータリークラブの発展、ローターアクト各クラブ、インターアクト各校の活躍、そして参加者の健勝を祈念して乾杯致します。

7. テーブルマスター報告（発表順の通り）

B テーブル：菰田ローターアクト委員長

2つの議題について意見交換を行った。まず「ロータリアンが青少年に何を伝えるべきか」については、

- ・“伝えるべき”という表現が上から目線に

なりかねず、ロータリアン側の姿勢も見直す必要がある という意見が多く挙がりました。

また、世代間ギャップ（ジェネレーションギャップ）への理解も重要との指摘がありました。

一方で議論の中心は、

- ・大阪南ローターアクトクラブの現状をどう立て直すか に移り、まずはメンバー増強が急務であるとの認識が共有されました。企業派遣による会員確保が有効ではないかとの意見が出され、福本氏・荻原氏からも協力の意向が示され、今回のフォーラムの大きな成果となりました。



C テーブル：谷村インターアクト委員長

「青少年に何を伝えるべきか」については、現代では世代間交流が希薄になっており、ロータリーの青少年奉仕は若い世代と関わる貴重な機会であるとの意見が出されました。

武田元会長からは、「何を伝えるかよりも、ロータリアン自身が積極的に事業へ参加する姿勢こそが最も重要である」との指摘があり、参加そのものが青少年への大きなメッセージになるとの認識が共有されました。

また、青少年奉仕の体験が進路選択に影響を与える例も多く、職業観・人生観を育む機会として事業を設計することの重要性が確認されました。さらに、「一緒に活動し、仲良

くなりながら体験を共有することが最も効果的」との意見も挙がりました。

最後に、学校や神社など関係先からは「継続的な取り組み」を求める声が多いことが紹介され、青少年奉仕は単年度で終わらせず、「継続性を重視した活動が必要である」との考えが示されました。



D テーブル：藪内ローターアクト副委員長

ローターアクトクラブは会員数が約 18 名と少なく、単独での活動には限界があるため、ロータリークラブや衛星クラブと「一緒に行動したい」という強い要望が示されました。

人数規模の大きい活動に参加することで、学生や若手メンバーが奉仕の醍醐味を実感できる点が重要であるとの意見が共有されました。

また、奉仕活動だけでなく、就職活動や職業観に関する話を聞く機会も、若い世代にとって大きな学びになるとの指摘がありました。

活性化策としては、会員増強が最優先であり、ロータリアンの子息や企業の若手社員に参加を促すことが有効ではないかとの意見が出されました。一方で、例会場のコストが負担となっている現状も共有され、オンライン例会の活用案もあるものの、対面で集まる価値も大きいことから、事務所の空きスペースを月 1~2 回貸してもらえると大きな助けになるとの提案がありました。

最後に、ローターアクトの前進のためにはロータリアンの協力が不可欠であり、引き続きの支援をお願いしたいと要望がございました。



E テーブル：西水会計

(大阪南なみはやロータリー衛星クラブ)

若い世代は年齢を超えた交流の機会が減っているため、ロータリー会員との関わりを増やすことが重要であるとの意見が出されました。大規模事業だけでなく、食事会などの小さな交流を積み重ねることで、世代間のつながりを自然に育てられるとの指摘がありました。また、職業体験の機会を提供することは、学生にとって多様な企業を知る貴重な経験となり、将来の進路形成にも役立つとの意見が挙がりました。こうした取り組みを継続することで、ローターアクト・インターアクトの会員増加につながり、結果としてロータリーの若年層への認知向上にも寄与するとの見解が共有されました。

さらに、青少年奉仕の現場では、若い世代が参加することで子どもたちとの距離が縮まり、事業が円滑に進むというメリットも指摘されました。



F テーブル：萱野先生

(興國高等学校 IAC 顧問)

高校生との関わり方を中心に議論が行われました。

若者の離職率が高い背景として、高校生が将来像を具体的に描けていないことが指摘されました。大学選びにおいても、将来の姿より偏差値や知名度を優先しがちであり、進路のイメージ形成が不足しているとの意見が共有されました。

そのため、高校生が将来を具体的に想像できる機会を提供することが重要であり、職業体験や職業講話の実施が有効であるとの結論に至りました。特に、講話では教科書的な「きれいごと」ではなく、仕事の裏側や実務のリアルな話を伝える方が、より刺激となり学びにつながるとの意見が出ました。

また、講話形式に工夫を加え、ロータリアン同士の対談形式にする、職場訪問を組み合わせるなど、より実感を伴う体験を提供するアイデアも挙がりました。



G テーブル：木下仁インターアクト委員

まず、ロータリアンが青少年に何を伝えるべきかについては、ローターアクト側から「活動が楽しくなければ参加が続かない」という率直な意見が出され、ロータリアンとローターアクトが一方的ではなく、互いに情報交換をしながら楽しめる機会を増やすことが重要であると発言がありました。

また、木村元会長から紹介された「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉が共有され、奉仕の精神を改めて確認する場となりました。

次に、どのように関わり活性化を図るかについては、ロータリーには多様な職種・年齢層の会員がいるため、ローターアクト側から職場見学や講話の依頼を積極的に行えばよいとの意見が出ました。名簿を活用し、必要な人材を指名して依頼する方法が提案されました。さらに、大阪学院大学 RAC から大阪南 RAC への移行が弱い点、またインターアクトと RAC のつながりも十分でない点が課題として挙げられました。特に高校への勧誘活動は時期が適切でない場合が多く、効果的なタイミングや内容を検討する必要があるとの指摘がありました。



H テーブル：野村先生

(清風学園 I A C 顧問)

インターアクトクラブに入部する生徒が何を求めているのかを中心に意見交換が行われました。

インターアクトの活動方針として「国際交流」と「社会奉仕」を掲げているが、生徒が最も求めているのは、学校という限られた環境を超えた「社会とのつながり」であるとの意見が共有されました。大人の話や直接聞く機会は、生徒にとって大きな刺激となり、成長につながるという意見がありました。

過去には佐藤元氏による講話が実施され、生徒たちは「人間力とは何か」「コミュニケーションの重要性」について深く学び、今も印象に残っています。また、会社見学や社会見学の機会を提供してもらえると非常にありがたいとの声が挙がりました。

さらに、多くのロータリアンは中高生と接する機会が少ないため、積極的に関わり、社会経験を伝えてほしいとの要望が示されました。インターアクトとしても、声をかけてもらえればいつでも参加したいとの意向が示され、今後の連携強化が期待されます。



I テーブル：横関議長

(大阪南なみはやロータリー衛星クラブ)

ロータリー・インターアクトの顧問の発言を踏まえ、ロータリーと若い世代が関わる意義について意見が共有されました。ロータリーと関わる最大の価値は、学校では得られない多様な世代・職業や大人と接することで、視野が広がり、多くの学びが得られる点にあるという認識が示されました。

そのうえで、ロータリアンが青少年に何を

伝えるべきか、またどのように関わるべきかについては、単発的な関わりではなく、例会や事業に継続的に参加し、共に活動することが重要であるとの意見がまとまりました。実際に一緒に汗をかき、行動を共にする中で、社会人としてのマナー、価値観、表現力、言語力、奉仕の姿勢など、多くの学びが自然に伝わるとされました。

若い世代の成長を見守りながら、継続的に関わり続けることが、ロータリーの青少年奉仕において最も大切であるとの結論で締めくくられました。



J テーブル：杉山幹事

(大阪南なみはやロータリー衛星クラブ)

若者は学ぶ意欲が高く、活動を通じて経験の大切さを伝えることが重要だと報告がありました。奉仕だけでなく、組織づくりや実生活に役立つ経験を提供し、世代間ギャップを意識して寄り添う姿勢が必要とされました。また、挑戦は早いほど良いというメッセージを若者に伝えるべきだと意見がございました。活性化については、ロータリアン自身が活動に参加し、メンバーや内容を理解することが第一歩であるとの意見が出ました。過去の成功事業を継続することも効果的で、さらに、若者がロータリーに何を求めているかを聞く姿勢が重要で、上から目線の指導は響かないと指摘されました。活動のメリットを具

体的に伝えることが参加意欲につながるという意見も共有されました。

最後に、ロータリー活動に参加した若者を入試や就職で評価することが、継続参加の大きな動機づけになると提案されました。



Kテーブル：小浦議長エレクト

(大阪南なみはやロータリー衛星クラブ)

山田会員と私がローターアクト出身であることから、当事者の視点も交えて意見交換が進められました。

まず、ロータリアンがローターアクト・インターアクトに関心を持つことが大前提であるとの認識が共有されました。そのうえで、ローターアクトに対しては「甘やかしすぎない姿勢」も必要であり、ロータリアンに依存するのではなく、自立を促す関わり方が重要だという意見が出ました。特に、会計報告など基本的な運営を自ら責任を持って行うことは、職業奉仕の観点からも学ぶべき点であるとされました。

また、青少年奉仕と職業奉仕を結びつける発想も提案され、職場体験や企業訪問を通じてロータリアンの仕事を知ってもらい、将来的にローターアクト経験者がロータリアン企業に就職するような「つながりの場」として機能させる可能性も議論されました。



8、ゼネラルリーダー講評：

寺川青少年奉仕担当理事

例会後にもかかわらず多くの方にご参加いただきありがとうございました。続いて、本日の2つのテーマを通じて得られた気づきについてまとめさせていただきました。

青少年奉仕は「与える活動」ではなく、ロータリアンとロータリーファミリーが共に学び合い、成長し合う関係であるとの考えが出ました。また、企業派遣や参加の意義など、すぐに実践できる具体的な意見が多く寄せられたことが良かったです。

最後に、今日得た気づきをそれぞれの現場に持ち帰り、具体的な行動につなげてほしいです。本日は、皆様ありがとうございました。



9、閉会挨拶：山本和副会長

例会後から長時間にわたり参加いただきましたロータリアン、ローターアクト、インターアクト各校顧問の先生ありがとうございました。

テーブルでは和やかな雰囲気の中で意見交

換が行われましたが、特に印象的だったのは、インターアクト出身者が医師となり活躍している事例や、震災後の奉仕活動を通じて若者が進路を決めた経験が紹介された点であります。こうした事例から、ロータリーの事業が若者の志を育て、人生を動かす力を持つことが強調されました。

また、ロータリーで学んだ精神を次世代に返していくことが、世界平和にもつながるとの考えが示されました。若者には失敗を恐れず挑戦する姿勢を持ってほしいと思います。ロータリアンはその挑戦を支え、成長を見守る役割を担うべきだと思います。

最後に、今回のフォーラムで出た意見を次年度以降の青少年奉仕に活かし、大阪南ロータリークラブから立派な若者が育つことを期待して閉会挨拶とさせていただきます。

(文責：末澤 市子)

5月定例理事会

審議事項

1. 「東南アジア研究会」設立の件
2. 臨時総会上程議案の件
3. 退会届の件
4. 職場体験受け入れに関するアンケートの件

報告事項

1. 第5回クラブフォーラム（青少年奉仕部門）参加状況
2. 会計収支予想の件
3. ニコニコの件
4. 新開年度打ち上げ懇親会の件
5. その他

ニコニコ箱へ

大阪西南 RC

長屋 卓嗣

金岩 政隆 会員から ・次年度会長、幹事で寄せていただきました。新開会長よろしくお願ひ致します。

大阪中央 RC

中嶋 茂夫 会員から

- ・本日は、大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブの代理で伺いました。宜しくお願ひします。
- ・本日は、大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブが、チャリティ缶バッジの販売でお世話になります。

大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブ

大代 佑記

笠井 大世 会員から ・チャリティ缶バッジ企画にご協力賜りましてありがとうございます。子ども達の為に使わせていただきます。集計につきましては、改めてご報告させていただきます。

秋庭 一郎 会員から

- ・本日、新入会員としてお世話になる事になりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

堀江 泰誠 会員から

- ・大学サッカー部後輩である塩貝選手がW杯に臨む日本代表に選出されました。ガンバレ、日本代表!!

入江 義雄 会員から

- ・上方の古典芸能振興に努力されておられる本日のゲスト亀岡典子さんをよろしくお願ひ致します。
- ・国立文楽劇場営業課、中澤久富様に来ていただきました。「文楽を楽しむ会」では、十数年に亘り大変ご支援をいただいております。今日は亀岡様の卓話をお聞きして、この地区の古典芸能である文楽を一人でも多くの方々に関心を持っていただき、「文楽を楽しむ会」にお入りくださいますようお待ちいたしております。

伊藤 芳晃 会員から

- ・次年度 地区公共イメージ向上委員会 副委員長 中嶋茂夫様。ようこそ大阪南ロータリークラブへ！

加藤 将人 会員から

- ・中村元会長、飯井会長エレクト、山本会長ノミニ一、色々とお手数をおかけしました下井様、ブラックスワン会会員の皆様6月9日は大変ありがとうございました。富士フィルムに神のご加護があらん事をお祈りしております。

- 木村 芳樹 会員から ・神戸元町で撮影しました写真を展示しています。
・台湾国際大会参加の皆さんお世話になりました。
- 河野 修 会員から ・台北国際大会に参加された皆様お疲れ様でした。栗原理事、寺本委員長他、国際交流委員会メンバーのおかげで新開年度の最後を飾るに相応しい行事となりました。（謝謝）
- 小谷 公穂 会員から ・記念品並びに欠席のお詫びです。
- 栗原 大 会員から ・6月12日～15日の日程で、総勢20名にて台北の世界大会へ参加し、無事に帰阪いたしました。現地では「南ナイト」「地区ナイト」と連日の大盛況でした。台湾美食のポテンシャルを前に、参加者の皆様の胃袋の限界値を超越するアテンドをさせていただきました。
帰国義、皆様が「体重増加の恐怖」と戦う中、不思議なことに私の体重だけが減少。人一倍エネルギーを消費しておりました。
これをもちまして、新開年度のラストを飾る事業を無事、大成功裏に終える事ができました。これまでの多大なるご支援に、心より感謝申し上げます。
追伸：最後に南北懇親ゴルフ会にて、お恥ずかしいスコアだったにもかかわらず、まさかの「優勝」でした。これぞまさに、新開年度を全うしたご利益だと勝手に解釈しております。
- 桑原 健郎 会員から ・良いことがありました。ありがとうございます。
- 正井 崇史 会員から ・3番テーブルのテーブル懇親会でのお釣りをニコニコします。
- 飯井 克典 会員から ・台北国際大会では、皆様大変お世話になりました。栗原理事はじめ国際交流の皆様、本当にありがとうございました。
- 三原幸一郎 会員から ・テーブル懇親会の残金をニコニコさせていただきます。
- 宮川 大作 会員から ・台北国際大会で栗原理事、寺本委員長はじめ国際交流の皆様、大変お世話になりました。
- 三宅 耕平 会員から ・先週の南北懇親ゴルフ会をもって、今年度のゴルフ同好会の行事が無事終了しました。毎回たくさんのご参加をいただき、本当にありがとうございました。
全日程晴天に恵まれ感謝です。栗原委員長、次年度も頑張ってください！
- 森田 正人 会員から ・人事異動の為、今月で退会させていただきます。3年間お世話になりました。後任の赤岩勇二さんを宜しくお願い致します。
- 岡本 直之 会員から ・本日外部卓話の大阪フィルハーモニーの福山修さんをよろしくお願い致します。
音楽、芸術活動へのご理解とご援助をよろしくお願いいたします。
・本日、卓話の産経新聞亀岡典子様をよろしくお願いいたします。
- 奥村 安正 会員から ・少々早いですが、新開会長、副会長、理事のみなさん1年間ご苦労様でした。色々な企画楽しかったです。ありがとうございます。
- 新開 隆浩 会員から ・本日入会の木崎さんをよろしくお願いいたします。
・台北国際大会、大変お世話になりました。栗原理事、寺本委員長はじめ国際交流委員会の皆様ありがとうございました。
・南北懇親ゴルフ会、三宅委員長お世話になりました。結果は、大阪南クラブの惨敗。ただ優勝とBBは我がクラブです。
- 神藤 佳浩 会員から ・少し良い事がありましたので、ニコニコさせていただきます。
- 鈴木 慶一 会員から ・福山様、卓話宜しくお願い致します。
・本日入会の秋庭さんをよろしく申し上げます。
- 武田 太郎 会員から ・南北懇親ゴルフ会お疲れ様でした。

- 寺本 一徳 会員から ・台北国際大会への参加の皆様ありがとうございました。ご満足いただけましたでしょうか。これにて国際交流委員会の担いは、終了です。やったー！
- 上田 豊 会員から ・上村さん、過日は大変お世話になりありがとうございました。
- 山本 博史 会員から ・台北ではお世話になりました。栗原理事、寺本委員長、濱口さん、黒田さん、中邨さんありがとうございました。
- 山本 和良 会員から ・楽しい台北ロータリー国際大会ツアーでは大変お世話になり、ありがとうございました。栗原理事、寺本委員長はじめ国際奉仕の皆様には特にお世話になりました。毎日、中華料理攻めでしたが、どの店も美味しく大満足でした。ありがとうございました。
・本日ご入会の石丸晶教さんをどうぞよろしくお願いします。
- 米田 秀弥 会員から ・初めて国際大会参加で、とても楽しい経験をさせていただきました。栗原理事、寺本委員長、委員会の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

本年度目標額 520万 6月 23日現在 累計 6,245,952 円